

平成 26 年度 第 3 回土木計画学研究委員会幹事会 議事録

日 時：平成 26 年 12 月 10 日（水）13：00～15：00

場 所：土木学会 C・D 会議室

■ 出席者

委員長：桑原 雅夫（東北大学）

副委員長：秋山 孝正（関西大学），久保田 尚（埼玉大学）

幹事長：多々納 裕一（京都大学）

学術小委員長：屋井 鉄雄（東京工業大学）

春大会選小委員長：吉武 哲信（九州工業大学）

H27 春大会開催校：大枝 良直（九州大学）

H27 秋大会開催校：浜岡 秀勝（秋田大学）

委員兼幹事：有村 幹治（室蘭工業大学），井田 直人（北海道工業大学），井料 隆雅（神戸大学），
大沢 昌玄（日本大学），大西 正光（京都大学），倉内 慎也（愛媛大学），
讚井 一将（国際協力機構），出村 嘉史（岐阜大学），鳩山 紀一郎（東京大学），
福田 大輔（東京工業大学），三輪 富生（名古屋大学）

■ 資料

- [資料 1] 平成 26 年度 第 2 回土木計画学研究委員会幹事会 議事録（案）
- [資料 2-②] 平成 26 年度土木計画学研究委員会 名簿
- [資料 2-③-1] 研究小委員会担当 審議・連絡報告事項
- [資料 2-③-2] 「減災計画研究小委員会」の設置申請について
- [資料 2-③-3] 土木学会 土木計画学研究委員会 研究小委員会設置申請書
- [資料 2-③-4] 土木計画学研究委員会 小委員会・ワークショップ 活動状況
- [資料 2-④] ホームページの修正・更新状況
- [資料 2-⑤] 土木計画学研究委員会国際セミナーについて（報告）
- [資料 2-⑥] 国際センター・出版委員会 状況報告
- [資料 2-⑦-1] ワンデーセミナーの企画状況
- [資料 2-⑦-2] ワンデーセミナーに関する後援名義の使用について（依頼）
- [資料 2-⑦-3] 土木計画学ワンデーセミナー：都市間旅客交通研究の最前線（仮）
- [資料 3-1] 土木計画学研究委員会幹事の役割分担の見直し
- [資料 3-2] 平成 27 年度「重点研究課題（研究助成金）」募集について（ご案内）
- [資料 3-3] スペシャルセッション「土木計画の思想的背景の検討」（案）
- [資料 4-1] 土木計画学ハンドブック 発行までのスケジュール案
- [資料 5-1] 第 51 回土木計画学研究発表会（春大会）の概要および企画論文募集について
- [資料 5-2] 第 51 回土木計画学研究発表会（春大会）オーガナイザー一覧
- [資料 6-1] 減災アセスメント小委員会 平成 26 年度第 1 回会合議事録（案）
- [資料 6-2] 減災アセスメント小委員会 平成 26 年度第 2 回会合議事録（案）

1. 開会

- ・ 桑原委員長より、開会の挨拶がなされた。
- ・ 資料 1 に基づき、前回の議事録を確認した。また、多々納幹事長から、前回の委員会での変更点として、以下の補足がなされた。
 - ワンデーセミナーには、今年度は 10 万円/件の補助が可能である。
 - 50 周年記念セミナーシリーズにおける招聘旅費として 50 万円の予算を確保した。周知をかねて IPML で公募する。

2. 平成 26 年度幹事担当タスクの検討状況報告

① 活動評価・中期目標対応（報告事項なし）

② 本委員会対応（報告者：福田）

- ・ 資料 2-②のように、委員会で承認された新委員を追加したリストが完成した。今後、委嘱状の送付がなされる。
- ・ 新委員の方には、研究発表会の活性化やビジョンに関連した事項など、適したミッションをグループを構成して担当して頂き、その結果を委員会にて報告して頂くことを検討している旨、多々納幹事長より報告がなされた。

③ 研究小委員会対応（報告者：井田）

- ・ 資料 2-③-2 に基づき、「減災計画研究小委員会」の設立申請が報告され、委員に就任予定の多々納幹事長より設立趣旨等について説明がなされた。
 - 本小委員会は、常設的な性格を持つことから、中間目標を設け進捗管理してほしい、減災アセスメントへのインプットを意識してほしい、等の要請がなされた。
 - 「研究小委員会」の英語表記については「Research Sub committee」とし、他の研究小委員会との統一を図る。
 - 次回委員会にて審議を行う。
- ・ 資料 2-③-1 に基づき、申請窓口の変更、日英併記版の設置申請書（2-③-3）のアップロード、受付期間の変更等を行った旨、報告がなされた。
- ・ 資料 2-③-4 に基づき、現在の小委員会およびワークショップの活動状況が報告された。これを受け、以下の議論・要請がなされた。
 - 研究小委員会の活動成果が明確になるよう、HP に記録が残るようにすることを検討する。その際、セミナー等の資料が閲覧できるようにすると有用である。また、CMS 化に併せて、各研究小委員会に HP での積極的な情報発信を依頼する。
 - 事業運営小委員会については、ML や Newsletter を通じて年 1~2 回程度、活動報告や出版案内等を行うようお願いする。次回委員会にて、これを要件とするか否かを審議する。
 - 「関連委員会」は、今後「共同設置委員会」と呼称する。

④ HP 担当（報告者：倉内）

- ・ 資料 2-④に基づき、HP の更新や英語化・CMS 化の進捗状況について報告がなされた。これを受け、以下の議論・要請がなされた。
 - 土木学会論文集 D3・特集号の投稿要項等の英語化については、英文論文集や通常号への投稿を奨励しているため、プライオリティは高くないとの判断から、当面は他のコンテンツの英語化を優先して進める。

➤ CMS化においては、研究小委員会活動のページの作成を最優先で進める。

⑤ 国際セミナー（報告者：讃井）

- ・ 資料2-⑤に基づき、平成26年度の開催実績が報告された。開催数は減少傾向にあるが、実際は多くの国際セミナーが開催されているため、共催を積極的に呼びかけると共に、共催のメリットとして、Certificateの発行を活用して欲しい旨、要請がなされた。

⑥ 国際センター・出版委員会担当（報告者：大沢）

- ・ 資料2-⑥に基づき、国際センターおよび出版委員会の状況報告がなされた。

⑦ ワンデーセミナー（報告者：福田）

- ・ 資料2-⑦-1に基づき、ワンデーセミナーとして3件の企画がある旨、報告がなされた。
- ・ 資料2-⑦-2について、研究期間が終了した研究小委員会の成果報告セミナーの後援依頼を、委員長名で行うことを承認した。関連して、ワンデーセミナーを開催する場合、委員長名で実施することも可能であることを確認した。
- ・ 資料2-⑦-3について、都市間旅客交通研究小委員会より、「都市間旅客交通研究の最前線（仮）」と題したワンデーセミナーの開催申請があり、これを承認した。

⑧ 全国大会研究討論会（報告事項なし）

3. H26年度の幹事会タスクについて

3.0 計画学研究発表会の活性化策について

- ・ 表記についてフリーディスカッションを行い、以下のような意見が出され、引き続き次回幹事会で議論することとした。
 - コメンテーター制は密度の濃い議論ができる上、過去の春大会の若手セッションのように、コメンテーターを指名制にすることで、泰斗の先生方の参加も期待できる。
 - 同様に、過去の審査付論文セッションを復活し、論文数を絞って集中的に議論するという方向性も考えられる。
 - 特に春大会については、方法論をベースにしたセッション等、分野横断型のセッションを企画する。
 - 学術小委員会と春大会運営小委員会の連携にも問題があるため、例えば、学術委員会の下に、論文集等の編集を行う小委員会と、発表会の運営を行う小委員会を設けるなど、組織改編が必要。学術小委員長と春大会運営小委員長を中心に素案を考え、次回幹事会にて審議する。

3.1 幹事の役割分担の見直し（報告者：多々納）

- ・ 委員長・幹事長宛に各種問い合わせが非常に多いことから、ミスをなくすと共に、幹事等への割り振り等を行う「総務担当」幹事を新たに設置することが提案され、これを承認した。なお、平成27年度は井料幹事に担当して頂く予定。
- ・ 「本委員会対応」は特にタスクが多いわけではないことから、「全国大会対応」に統合することが提案され、これを承認した。なお、将来的には、「全国大会研究討論会」との統合も検討する。
- ・ 「50周年関連行事担当」幹事を新たに設置することが提案され、これを承認した。なお、平成27年度は、福本幹事、有村幹事、鳩山幹事、長田幹事に担当して頂き、福本幹事が出版関連、有村幹事がセミナー関連を中心に担当することとした。

3.2 平成27年度「重点研究課題（研究助成金）」募集について（報告者：多々納）

- ・ 資料3-2に基づき、表記の紹介がなされ、総務担当幹事がIPMLでアナウンスすることとなった、

3.3 土木計画学（春大会）スペシャルセッション：「土木計画の思想」の企画について（報告者：秋山）

- ・ 資料3-3に基づき、50周年記念事業の一環として、表記企画案が紹介された。
- ・ 本件に関して、出村幹事が宣伝等の協力を行うこととなった。
- ・

4. 土木計画学研究委員会 50周年記念事業について

4.1 土木計画学ハンドブックについて（報告者：多々納）

- ・ 資料4-1に基づき、表記の説明がなされた。
- ・ 執筆者が未定の箇所も散見されるため、早めに内諾を取るよう、主査に依頼することとした。

4.2 50周年記念セミナーについて（報告者：有村）

- ・ 50周年記念事業の一環として8/10に開催される「道路の時間信頼性に評価に関わる国際シンポジウム2015 in 札幌」の準備状況について報告がなされた。
- ・ 関連して、国際セミナーの開催補助として50万円の予算を確保予定であるため、その募集案内の素案を幹事長が作成することとなった。

4.3 50周年記念シンポジウムおよび特別セッション（2016年秋大会）について（報告者：多々納）

- ・ 表記について、以下の方針が説明された。
 - 9月頃に東京にて政府関係者や大御所の先生を招き、外向けにシンポジウムを開催する。
 - その結果を持ち帰った上で、2016年の秋大会に、特に若手をインスパイアする目的で、内向けに特別セッションを開催する。
- ・ この方針に則して、久保田副委員長と屋井学術小委員長、新委員で大まかな方向性を議論して頂くこととなった。

5. 研究発表会の準備状況について

5.1 H27春大会（報告者：吉武）

- ・ 資料5-1および資料5-2に基づき、春大会の準備状況について報告がなされた。
- ・ 幹事長より、予算を早めに決めて欲しい旨、依頼がなされた。

5.2 H27秋大会（報告者：浜岡）

- ・ 表記について、開催校の準備状況の報告がなされた。
- ・ 屋井学術小委員長より、招待講演後に地元関係者の講演を行う予定である旨、報告がなされた。

6. その他

6.1 減災アセスメントのための合同小委員会について（報告者：多々納）

- ・ 資料6-1および資料6-2に基づき、小委員会の活動状況について報告がなされた。

6.2 次回幹事会について

- ・ 5月頃に東京で開催予定。
- ・ 日程調整は、後日、藤見幹事もしくは総務担当幹事から行う。

（記録：有村，倉内）